

2022年10月20日

各位

ENEOS株式会社

「令和4年 地熱発電の資源量調査事業費助成金交付事業」に採択 ～大分県由布市で事業化に向けた地熱発電開発調査を実施～

当社（社長：齊藤 猛）が大分県由布市において進める地熱発電調査（以下、「本調査」）が、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（理事長：細野 哲弘、以下、「JOGMEC」）より「令和4年度 地熱発電の資源量調査事業費助成金交付事業」に採択されましたので、お知らせいたします。

当社は、「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げる2040年長期ビジョンの実現に向けて、再生可能エネルギーを軸とした発電事業を国内外で積極的に推進しており、国内トップクラスの再生可能エネルギー発電容量を保有しています^{※1}。

ベースロード電源として電力を安定供給できる地熱発電事業は、当社国内発電事業の強化に資するものから、2021年9月より、マルマタ林業株式会社（所在地：大分県日田市、社長：合原 眞知子）およびマルマタ地熱株式会社（所在地：大分県日田市、社長：合原 幹知）と、大分県由布市における地熱発電の共同開発に係る事業化検討を行ってまいりました。今般、JOGMECより助成金交付の採択を受け^{※2}、当社として初となる地熱発電の事業化に向け両社とともに本調査を進めてまいります。

当社は、今後も、再生可能エネルギーをはじめとした環境配慮型エネルギーの供給を積極的に推進し、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」および目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。

以上

※1：当社の国内再生可能エネルギー発電事業

(ジャパン・リニューアブル・エナジー(株) 持分容量含む：2022年6月末時点)

太陽光	75箇所	発電容量	48.6万kW
陸上風力	8箇所	発電容量	8.6万kW
バイオマス	2箇所	発電容量	9.1万kW
計	85箇所		66.3万kW

※2：JOGMEC助成事業者は、当社とマルマタ林業株式会社の2社

(マルマタ地熱株式会社はマルマタ林業株式会社の100%子会社)